



「理解はしているけど気持ちがね」

「じゃあ～、〇〇しようかな」

最近の娘の口癖です。5月に2歳になり本格的に「イヤイヤ期」を迎えて、何を言っても反対の事を言って拒否をしています。こちらは、上手くごまかしながら大人の思惑に乗せようとするのですが、言葉が達者な娘はそれを「じゃあ～」のキラーフレーズを使ってひっくり返して行きます。

例えば、ご飯の時に「ご飯食べるよ」と声をかけると、「イヤ」「ヤダ」などの否定の言葉をあえて使わずに「じゃあ～、あおちゃんはおえかきしようかな！」と笑顔で答えます。

私も、20年近く保育や福祉の仕事をしているので、この時期の発達の勉強はしていますし、保育士として保育園で働いている時に、1歳児クラスや2歳児クラスの担任も経験しているので、実践経験も積んでいるつもりです。

子どもが「イヤ」「ヤダ」と自己主張をする事は、自分で出来る事が増えて来の中で、「自我」の育ちによって表れてくる事なので、成長の過程にはとても大切な事なのです！……という教科書的な事は重々承知をしております！

対処方法として、子どもに「〇〇と△△どっちにする？」と選択肢を提示して「自分で選ばせてあげる」という事も分かっています！

しかし、それを軽々と飛び越えて「じゃあ～」という一言でひっくり返され、朝の忙しい時間で向き合う時間も無い状況…。

笑顔を保ちながらも時計を見て「今の時間から食べ始めないと間に合わないかも…」半分諦めながらもあの手この手で説得をする日々が続いています。

理屈ではわかっていて理解もしているけれど、感情的に受け入れられない又は整理出来ない事というのは、社会の中で人と関わりあって生活をしていると必ず訪れます。

その中で、表面上出ている「言葉」と内面に隠された「本心」は必ずズレが生じます。これは、「嘘」や「ごまかし」ではなく、人間関係を円滑に進めてく為の「技術」ですね。もし、誰もが思った事や感じた事をそのまま言葉にしていたら必ず軋轢が生まれてしまうでしょう。

娘がその場を穏やかに上手く乗り切る為の工夫をしているのだと感じながらも、余裕がある時には娘の「じゃあ～」にこちらも「じゃあ～」と返ししながら根競べをしています。

児童通所課 嵯峨憲司



# キッズサポートにじいろ 活動報告

## にじいろ狭山活動報告

五月晴れの気持ちよいお天気の下、戸外での活動を楽しみました。遊具で遊んだり、木登りをしたり、散歩をしたり、たくさん体を動かして、元気に過ごしています。



## にじいろ入間活動報告

新年度から2ヶ月が経ち、新しい環境にも慣れてきた子ども達。落ち着いて活動に取り組み、出来る事も増えてきたように感じています。

写真は4月27日に児童発達の活動でたけのこ堀りに行った時の様子です。前回のお知らせには掲載しきれなかったのでご紹介させていただきます。中々子どもだけでは難しい作業ですが、とても貴重な体験が出来ました。採れたてのたけのこを調理した物も頂き、柔らかくて子ども達も美味しく食べていました。



## 教材紹介

## 【物の概念】



物の概念形成（同じ仲間、種類）を目的とした教材です。

使い方としては、左写真のようにランダムにカードを置きます。

その後に、ホワイトボードにある文字を見て、それぞれ分類わけしてもらいます。

くだもの⇒いちご、みかん、りんご  
どうぶつ⇒しまうま、ねこ、きりん  
かでん⇒れいぞうこ、てれび、せんたくき

おおまかな分類ができるようになったら、より細かい分類に少しずつ移行し、幅広い面での概

